

# まさゆき新聞

M A S A Y U K I S H I N B U N

編集・発行：サウンド&ミュージック クリエーション

〒216-0004 川崎市宮前区鷺沼1-11-14パレスビル2F TEL044-855-0111 FAX044-788-1727

十一月四日 プカレスト  
私を最初に迎えてくれたのは、真赤に燃える大きな太陽であった。もう何年もそんな光景は見えていなかった。ルーマニアの広大な地平線、高い建物もなく、ゆつくりと沈みゆく太陽が非常に印象的であった。とうとう念願のルーマニアへやってきた。今日では思った程寒くはなかった。両替所ですぐ両替、バスポートコントロール、何なりと入国できた。町ではまだミネラルウォーターが買えないとの事、空港で大量に仕入れホテルへ向かった。ホテルプカレストまで約三十分の道のり。聞いた話によると、一年前より随分と発展したらしい。マクドナルド等、西側と変わらぬものもどんどんできてきているようだ。ホテルはなかなか立派で、一泊、日本円で二万四千円もする。これはルーマニア人の平均給与の約三〜五倍との事である。私はさつそくロビーにいた地元の人に、おいしいレストランを聞きだし、夜は皆でそこへ出かけた。タクシーで約十分、運転手に二万レイ

## ルーマニア演奏旅行記

本野雅之(ヴァイオリン)

山下泰資(チェロ)

小森谷泉(ピアノ)

中島良能(指揮)  
井上宏一(指揮)

'97.11.4  
~16

(三百円位) 払ったら大喜びされた。本当は八十円位で良かったようである。ルーマニアの代表的料理を体験、最高の夜であった。

十一月五日

プカレスト↓ポトシヤニ

晴天の朝である。今日はこれからウクライナの近く、ポトシヤニまで約九時間のバスの旅。朝九時頃ホテルを出発、すぐ農村風景となる。まず最初におどろいたのは、馬車のおびただしい数、何とこの国では、他の東欧諸国よりも多く馬車が実用で使われているとの事であった。私が思うに、この国は風景から車を除いたら、おそらく百年前と変わっていないであろう。道路は多少舗装はしてあるが、していない所もまだまだ多く、乗りごちもお世辞にも良いとはいえない。しかし広大な土地を見てみると、本当に日本の地形との違いを感じさせ、開拓して、この国を裕福にできないものかと考えさせられる。途中、バカウの町で昼食、かわい子供

に出会う。再びポトシヤニに向かうが、同じ風景が延々と続く。日が暮れてもバスの中は明りがなく暗い。よくみると、村の家にも明りがついていない。電気はまだまだ貴重な様である。夜七時にポトシヤニに到着。町で一番良いホテルだそうだが、電話が壊れているらしかつた。今日は早く寝よう。

十一月六日 ポトシヤニ

いよいよ今日から練習である。オーケストラとの練習は、ホテルのすぐ斜め向かいの劇場で行われる。日本ではとくに建てかえているであろう程古い建物であった。ベートーヴェンの三重協奏曲を弾くのは久しぶり、まず三人の位置決めが三十分程かかる。コンサートマスターが一番来ていてすべてを手エックしている。義務なのであるうか、私もそんな事をした事はないが・・・練習は一時間程で終わる。すんなりと出れた。昼すぎ、オーケストラの事務所でギヤラをいたたく。三十万レイ(日本円で四万円位)、とても有難い額である。午後は昼寝、よほど疲れたのか、気がついたらいつのまにか夜になっていた。夕食後、この国のウォッカを飲んだがとてもおいしかった。

十一月七日 ポトシヤニ

朝十時からゲネプロ、といつても何ら昨日の練習と変化ない。コンサート



いく出来であった。終演後はオーケストラのメンバーと楽しいパーティー。手作りの酒で盛り上がり、ルーマニアデビュコンサートは大変良い思い出となった。

#### 十一月八日 ヤシ

急に寒くなった。朝九時頃出発、ポトシヤニの旧市街を少し見学後、ヤシへ向かう。雲の狭間に  
もれる太陽の光が我々をやさしくついでくれる。途中休憩をはさんで約二時間半、ヤシに到着。少し暖くなってきた。この町は城や教会などの歴史的建造物がすばらしい。教会では結婚式が行われていた。昼食はイタリア料理、久しぶりに生野菜を食べた。異国の地にしてはなかなかの味であった。午後はさっそく会場へ行って練習。オペラ劇場の中は大変立派ではあったが、その舞台ではなくロビーでの室内楽コンサートである。特設ステージがもうけられていた。昨夜のコンサートより大分増しな、カワイの小型のグラランドピアノがあった。夕方まで練習後、ホテルで一休み。夕食はもう一軒別のイタリアアレストランへ行つた。夜、パリから私の妹と友人が無事到着、明日から賑やかな旅となる事であろう。

#### 十一月九日 ヤシ

一転して急に暑い日。この国は大変天気が変わりやすいらしい。午前中のリハーサル後、ホテルで一休み。昼は郊外のレストランへと出かけた。バスに揺られる事三十分、街道沿いの小さなレストランは、地元の大勢の人々で賑わっていた。とても庶民的な所であり、量もたっぷりしておいしかった。午後はゆつくりとホテルで過ごす。窓からの夕日を眺めながら個人練習後、会場へ。コンサートは十八時三十分から。七十席程ならべられたロビーはいっぱいとなった。前半は無事終了したが、後半のブラームスの第一楽章でピアノの横の電気スタンドが切れてしまい、その後ピアノは明りなしで演奏。小森谷氏は大変であったが、東欧ではよくあるハブニングである。それでも熱演の我々に聴衆は盛大な拍手をおくり、アンコールに促して二曲演奏した。夕食はオペラハウスの裏の方にある少し高級なレストランにて、ルーマニアで初の魚料理を食べた。私の口にルーマニア料理は大変合うらしく(他の料理でも何でも合うとよく人に言われるが)、堪能した。

#### 十一月十日 ブカレスト

国際電話をかける為のプリペイドカードは、この国にも普及しており、朝そのカードを買いに。又、銀行に寄る為、少し早目の出発。今日は再びブカ

レストまで長い旅の始まりである。景色の良い所での休憩、地平線が本当に良く見える。この国の風景はもしましからこれから先、百年大きな変化はないであろうし、又、変わらないでほしいと思う。日本の様に常に速い変化をしている国の人間のかつてな意見かもしれないが、途中の小さな町で昼食中、指揮者の中島氏が財布をなくしたと突然言いだし、皆であわてて捜したが見つからない。後で車の中に置き忘れた上着の中に見つかり、一件落着。旅の時の事故はよくある事だが、とにかく無事でよかった。夜七時にブカレストに着。私はこの町が初めての妹と友人を連れだつて、最初の日に行ったレストランへ出かけていった。

#### 十一月十一日 ブカレスト

ブダペストからの日本人観光団は前夜着くはずの予定が今朝になり、バスでそのまま黒海沿岸の町コンスタンツァへ出かけて行った。私も行きかけたが、今回は仕事でムリ。いつか行ってみたいと思う。午前中エネスコ管弦楽団のボス、ピアニストのリカレット氏と会った。プログラムの最終うちあわせ、大ボスのクリスチャン・マシナル氏は日本フィルを振つた事もある指揮者だが、今日は残念ながら会えなかった。昼にこの国へ来て初の中華料理を食べたが、まずくてがっかり。やはり自国の料理が一番であろう。夕

マスターのもと、どんどんリハーサルがすすんでいったが、楽器のコンディションが悪いせいか、音程を合わせるのもつらそうである。弦楽器の方も、よく見れば毛は二十本位しかついていないもので、八年間も毛替えをしていない弓で、それでも一生懸命弾いてくれている。この国で弓の毛を一度替えると、一ヶ月分の給料がかかるそうである。首席チェロ奏者が本番前に弓を折つてしまい、大変な事になった。聞けば他のプレイヤー共々、一本づつしか弓は持つていないそうだ。山下氏のサプの弓を借りて、何とか本番ができた。夜のコンサートは六時半に開演。この国は将来ある子供達の聴衆を育てるという目的で、子供料金が約十五円という信じられない安さである。おかげでコンサートホールは超満員であった。本番を無事終了、自分としては満足の

方パリからもう一人の妹の友人が到着、さらにぎやかな旅となる。夜、オーケストラとの初練習。何とすばらしいサウンドなのであろう。アテネ音楽堂の響きはもちろんすばらしいが、それ以上にオーケストラに感動した。やはりヨーロッパを代表する一流のオーケストラは違ふ。このような共演の機会を大切にしたいと思う。明日のリハーサルまでにやるべき勉強は沢山あり、今夜は早目に休み、翌朝少し一人でさいたくなつた。

十一月十二日 ブカレスト

今日も大変良いお天気である。少し観光をしようと思ひ、農村博物館というルーマニアの田舎の民家をそのまま展示してある公園へ出かけたが、非常に楽しめた。その後、世界的ヴァイオリニスト、ジョルジュ・エネスコの家へ訪れたが、ここが又大変すばらしく、彼の生前の功績が十分に伝わる所で、是非多くの人にもたずねて頂きたいと思つた。なつかしの彼の写真や手紙、楽譜等もあり、音楽ファンにはとてもたまらないところである。夕方からは再びオケ合わせ。リハーサルの後、日本人観光団と合流、ホテルでの食事に旅の話が花を添える。皆十分元気に楽しんでるようで安心した。よくぞ東京から遠いルーマニアまで我々の演奏会を聞きにいらしてくれたものである、と新ためて感謝する。

十一月十三日 ブカレスト

いよいよ今日はコンサートである。さわやかな朝をむかえ、準備万端でホールへ、ゲネプロにむかつた。自分の財布を忘れたのに気づいて、後で部屋へ帰つたら、メイドがきちんとベッドの上へ置いてくれ、ホツとする。昼寝を十分取り、夕方から軽い食事。少し早目に会場入り。異国の地からのお客様の演奏会を地元の人たちは暖かくむかえてくれるだろうか、心配しながら到着。だがそんなことは全く必要なかつた。満席の聴衆は、私の演奏するシベリウスに大変気持のよい盛大な拍手をおくつてくれた。すばらしい一夜であつた。明日もこの調子でいきたい。

十一月十四日 ブカレスト

前夜の疲れは全くなく朝をむかえた。昼は日本大使の招きで昼食会へ出かけた。大使館はホテルから歩いて十分程の所にあり、素敵な建物であつた。小山大使は絵画が趣味らしく多くの絵が飾つてあり、文化についての話で盛り上がった。今夜は我々のコンサートにいらして下さるそうである音楽にもいろいろ精通していらつしやる様であつた。私はこの国の音楽事情がどうなつてゐるか興味があり、沢山の楽しい話が出た。夜再びホールへ。昨夜と同じプログラムであつたが、今夜は大ボスのマシナル氏とも再会し、日本でのコンサートの思い出も出来た。いつの日

か、又、このオーケストラと演奏したいと切に願う。

十一月十五日 ブカレスト

久しぶりの休日、午前中は買い物に出かける。故チャウシエスクの国民の館は近くで見るとものすごい迫力である。人間の力の恐ろしさに改めて知らされた。その近くにあるリース屋は種類も豊富で大変すばりかつた。昼はドイツからいらしてもらつてゐる日本人のピアノ調律師と一緒に過ごした。夕方からアテネ音楽堂にて明日の室内楽コンサートのリハーサル。最後のコンサートだけに気がぬけない。夜はアテネ音楽堂にて、ここブカレスト音楽院の教授であるヴァイオリニスト、ペトロヴィツ氏と、リカレット氏のピアノによるコンサートを聴いた。モーツアルトのソナタ三曲とベートーヴェンのソナタ二曲という、およそ日本では考えられない様な難しいプログラムではあつたが、二人の音色はとても良

く合つていた。

十一月十六日 ブカレスト

早朝に雷がなり突然目が覚めた。とうとう今日はツアーの最後であるが、朝から雨がひどい。午前中会場でのリハーサル。ピアノ調律師の貝塚さんによる入念なチェック。彼は今夜の本番を待たずにフランクフルトへ帰る。この一週間の彼の仕事に皆で感謝する。昼はアテネ音楽堂の横のピストロ・アテネの食事。私のこのレストランが大変気に入る何度もきたが、又、ブカレストに来た時は寄りたいと思う。夜のコンサートは雨のせいお客の入はもう一つであつたが、とても熱心に聞いてくれた。とにかくすべての演奏会、ツアーは無事終了。最後の打ち上げは観光団もまじえて盛大に中華料理屋で行われた。この地でこのメンバーで再会する事もないだろうが、とても充実した良い思い出となつた。

インフォメーション

音クリエイター(音楽の友 一月号)

まさゆき倶楽部新春会 東京・柿の木坂 一月一八日

My Favorite(レコード芸術 二月号)

まさゆき倶楽部親睦会 三重県・四日市/名古屋 三月二二日

いま始める演奏の愉しみ(音楽の友 四月号)

- 4・4(土)日フィルコヴァルスキーリサイタル(神奈川県民ホール) #現田茂夫(指揮)、他 bオルフェオとエウリデーチエ(グルック)、他
- 4・5(日)リサイタル(那須二期倶楽部) #斎藤雅広(ピアノ) b春(ベートーヴェン)、他
- 4・9(木)室内楽コンサート(東京・トモノホール) #倉澤華(ピアノ)、他 bソナタ第一番(フォーレ)、他
- 4・11(土)室内楽コンサート(佐賀県文化会館) #堂山敦史(ホルン)、他 bホルントリオ(ブラームス)
- 5・9(土)第144回日フィル横浜定期(神奈川県民ホール) #小林研一郎(指揮)、他 b一八二二年(チャイコフスキー)、他
- 5・10(日)第86回日フィルサンデーコンサート(東京芸術劇場) #児玉桃(ピアノ)、他 b協奏曲第二番(ラマニア)、他
- 5・14(木)、15(金)第500回日フィル定期(サントリーホール) #小林研一郎(指揮)、他 b千人の交響曲(マーラー)※完売
- 5・23(土)福井響(福井) #榊原菜(指揮) b協奏曲(シベリウス)
- 5・30(土)リサイタル(兵庫県加古川市) #三船優子(ピアノ) b未定
- 6・2(火)リサイタル(福岡県久留米市・共同ホール) #村上弦一郎(ピアノ)

- 6・3(水)無伴奏リサイタル(福岡県・宮の陣) b庭の千草(エルンスト)、他
- 6・4(木)リサイタル(昭島市民会館) #熊本マリ(ピアノ) bボギーとバス(ガーシュイン)、他
- 6・7(日)第87回日フィルサンデーコンサート(東京芸術劇場) #ヤルヴィイ(指揮)、他 b展覧会の絵(ムルグスキ)、他
- 6・11(木)日フィルコンサート(山口県・シノフォア岩国) #横山幸雄(ピアノ)、他 b協奏曲(グリーグ)、他
- 6・13(土)日フィル名曲コンサート(サントリーホール) #ヤルヴィイ(指揮)、他 b英雄(ベートーヴェン)、他
- 6・18(木)、19(金)第501回日フィル定期(サントリーホール) #ヤルヴィイ(指揮) b交響曲第六番(プロコフィエフ)、他
- 6・21(日)リサイタル(松本ハーモニーホール) #仲道都代(ピアノ) bソナタ第二番(シューマン)、他
- 6・23(火)無伴奏チャリティーコンサート(札幌グランドホテル) bメフィストワルツ(リスト)、他

# 木野雅之平成十年度上半期演奏予定

(#共演者 b.曲目)

- 6・24(水)トリオコンサート(北海道・和寒) #菊地知也(チェロ)、他 b屋根の上のヴァイオリン弾き(シヨスタコーヴィッチ)
- 7・3(金)日フィル二十世紀コンサート(サントリーホール) #沼尻竜典(指揮)、他 b星条旗(ストラヴィンスキー)、他
- 7・4(土)第145回日フィル横浜コンサート(神奈川県民ホール) #近藤喜宏(ピアノ)、他 b皇帝(ベートーヴェン)、他
- 7・5(日)室内楽コンサート(平塚美術館) #原田節(オンドマルト)、他 b未定
- 7・9(木)、10(金)第502回日フィル定期(サントリーホール) #タン・ドゥン(指揮) bマルコ・ポーロ(ドゥン)
- 7・18(土)ルガーノ・カルテットコンサート(大阪センチュリークラブ) #マイヨル(ヴァイオリン) b菊(フツチーニ)、他
- 7・24(金)ルガーノ・カルテットコンサート(東京・ルネ小平) #山下泰資(チェロ)、他 b弦楽四重奏曲第六番(ドニゼッティ)、他
- 8・4(火)日フィルこども芸術劇場(田川文化センター) #藤岡幸夫(指揮)、他

- 8・6(木)同右(都城市民会館)
- 8・8(土)同右(沖永良部島・和泊町民体育館)
- 8・18(火)〜24(月)白馬ミュージックセミナー
- 9・5(土)第106回日フィル横浜定期(みなとみらいコンサートホール) #ジェルメッティ(指揮)、他 bミサ・ソレムニス(ロッシニ)
- 9・6(日)第237回日フィル名曲コンサート(サントリーホール) #ジェルメッティ(指揮)、他 bミサ・ソレムニス(ロッシニ)
- 9・13(日)第88回日フィルサンデーコンサート(東京芸術劇場) #ジェルメッティ(指揮) b田園(ベートーヴェン)
- 9・17(木)、18(金)第503回日フィル定期(サントリーホール) #井莚英三子(ピアノ) bドイツレクイエム(ブラームス)
- 9・23(水)日フィル日韓交流コンサート(東京国際フォーラム) #大友直人(指揮)、他 b未定
- 9・25(金)日フィルコンサート(函館・上磯文化センター) #前橋汀子(ヴァイオリン)、他 b協奏曲(シベリウス)、他
- 9・26(土)同右(苫小牧市民会館)
- 9・27(日)同右(室蘭市文化センター)
- 9・28(月)同右(札幌Kare)